

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Universal school CRECIO Jr. 住道校		公表日		2025 年 3 月 31 日	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な 環境と 支援の 提供	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。	3	3			他の児童と離れてゆっくり過ごすことができるスペースを決める必要がある。
	2	清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。 また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	6				
	3	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている。	6				
	4	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。	3	3			子どもたちの特性や支援方法について、職員で話し合い、個々に合わせた支援内容を考えることが必要。
	5	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っている。	6			年に1回見直しを行い、そのプログラムをもとに毎月の予定を考えています。	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている。	6				
	7	個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	6				
	8	作成された個別支援計画書には丁寧に支援内容の説明が行われており、個別支援計画に沿った支援が行われている。	6			保護者面談の際に、支援計画をもとにどのような支援を行っていくかを説明しています。	
	9	日々の活動内容や取り組みなど、固定化しないよう多様性をもった様々な経験ができるように工夫されている。	5	1			今までの活動内容に固執せず、その時の子どもたちに雰囲気合った内容を取り入れていく。
	10	こどもの状況に応じて、個別課題と集団活動を適宜組み合わせる支援が行われている。	4	2			集団活動が多いため、個別課題も取り入れた支援を行う必要がある。
業務 改善	11	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を授業改善につなげているか。	6				
	12	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている。	2	4			どのような研修があるのか紹介をしたり店舗内でも研修をする機会を設ける。
	13	支援開始前には職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。支援終了後には職員間で打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有している。	6			朝礼の際に、出欠確認や支援内容の確認、連絡事項などを話しています。	
ご 家 族 へ の 対 応 に つ い て	14	ご家族との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされ、苦情や要望に対しては、体制を整備するとともに、迅速かつ適切に対応している。	6				
	15	日頃からこどもの姿や様子を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思う。	4	2			保護者面談を通してお伝えはしていますがそれ以外でも、日々気になることがあれば連絡を取り合う必要がある。
	16	ご家族、学校、放デイなど、関係機関との連携が密に図られているように感じる。	3	3			関係機関との連携を今まで以上に図れるようこちらからも積極的に連絡を行う。
	17	定期的に、面談やこどもへの関わり方、支援に関するアドバイスや助言など、ご家族への支援が行われている。	5	1		年に3回保護者面談を行っています。その際に、子どもたちの様子や支援についてお話をしています。	どのように関わっているのか、普段の様子を伝えると共に、ご家庭でも取り組めるよう助言を行う必要がある。
	18	家族参加イベントや茶話会の開催等により、保護者同士やきょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。		1	5		ご家族の方も参加できるイベントを企画する。また、保護者の方同士で話ができる場を定期的に設ける。
	19	定期的におたよりやホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている。	6			毎月おたよりを配布し、週2～3回SNSを更新することで日々の様子をお伝えしています。	
	20	個人情報の取り扱いに十分に注意されている。	6				
非 常 時 等 の 対 応	21	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況について説明がされる。	6				
	22	業務継続計画（BCP）、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	5			職員にマニュアルの周知を早急に行い定期的な訓練を実施する。
	23	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6				
24	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6					
満 足 度	25	こどもの将来を見据えた支援を追求できていると感じられる。	6				
	26	こどもは通所を楽しみにしている。	2	4			学校終わりで疲れている子どもたちも多いので、どうしたら楽しんでもらえるのか活動内容を見直す必要がある。
	27	何かあれば気軽に相談できるスタッフが事業所にいる。	6				

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Universal school CRECIO Jr. 住道校
------	---------------------------------

公表日 2025年3月31日

利用児童数 30名

回収数

16

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。	16				
	2	清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。 また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	16				
	3	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1		1	支援の様子を見てもらうために定期的に参観を開催する。また、多くの方に来ていただけるよう早めに周知を行う。
	4	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		1	資料配布だけではなく、ホームページやSNSなどに支援プログラムを掲載する。
	5	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている。	16				
	6	個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定される。	16				
	7	作成された個別支援計画は丁寧に支援内容の説明が行われており、個別支援計画に沿った支援が行われている。	15	1			個別支援計画に沿った支援をおこなっているのか、実際に活動の様子を見る場を設ける。
	8	日々の活動内容や取り組みなど、固定化しないよう多様性をもった様々な経験ができるように工夫されている。	16				
ご家族への 対応について	9	ご家族との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされ、苦情や要望に対しては、体制を整備するとともに、迅速かつ適切に対応している。	14	1		1	ご家族の方と様々な方法で密に連絡を取り、情報を共有を行う。また、対応についても話す機会を設ける。
	10	事業所を利用する際に、運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1			契約の際に、丁寧に説明を行う。また、支援プログラムに関しては、見直しを行った際に再度説明を行う。
	11	日頃から子どもの姿や様子を保護者と伝えあい、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思う。	16				
	12	ご家族、学校、放デイなど、関係機関との連携が密に図れているように感じられる。	14	1	1		ご家族だけでなく、関係機関にもこちらから定期的に連絡を取り、情報共有を行う。
	13	定期的に、面談やこどもへの関わり方、支援に関するアドバイスや助言など、ご家族への支援が行われている。	15	1			年に3回面談を行っているが、それ以外でも連絡を取ることで、ご家族の支援も行う。
	14	家族参加型イベントや茶話会の開催等により、保護者同士やきょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。	11	5			ご家族参加のイベントや茶話会など保護者の方同士で話をする機会を設ける。
	15	定期的におたよりやホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている。	16				
	16	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思う。	16				
非常時 等の 対応	17	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。 また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2		3	マニュアルの周知と説明を速やかに行う。また、訓練の実施状況もホームページやSNS等で報告する。
	18	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか？	10	2		4	自分が分からないため。 どのような訓練をしているのかSNSや配布物を通して保護者の方に見ていただく。
	19	こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			5	安全を確保するために、どんなことをしているのか、そのうえでどのような支援を行っているのか説明する場を設ける。
	20	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1		3	怪我等が発生した場合には、状況等の説明を速やかに行います。
満足 度	21	こどもの将来を見据えた支援を追求できていると感じられる。	15			1	将来のためにどのような力をつけてほしいのか等、保護者の方と話をする機会を設ける。
	22	こどもは通所を楽しみにしている。	11	4	1		自分の業行が悪いのに、それを注意されるから。 学校の後にしんどさを感じている時がある。
	23	こどもを安心して預けられる。	16				
	24	何かあれば気軽に相談できるスタッフが事業所にいる。	16				
	25	事業所の支援に満足している。	16				いつも本当にありがとうございます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Universal school CRECIO Jr. 住道校		
○保護者評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中高生ならではの課題に取り組むことができる。 また、同世代での交流を楽しむことができる。	職員の年齢が、子どもたちと大きく離れていないため 学生の頃を思い出しながら活動内容や外出先を考えています。	楽しいと思う内容を子どもたちにも考えてもらう。 また、その内容を活動の中に取り入れる。
2	一人暮らし部屋や広いキッチンがあるため 将来の自立に向けた活動に取り組むことができる。	一人暮らしをしている職員が多いため 実体験をもとに内容を考え、取り組んでいる。	学んだことをご家庭でも取り組むことができるよう 内容を工夫し、保護者の方にも協力していただく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校日は、活動時間も遅く、遊ぶというよりは学ぶことが多い内容になっているため、集中が続かない子や疲れている子たちを見ることが多い。	友だちに会えることよりも、学校後にまた勉強しに行く場所という印象が強い。	自立に向けての内容に取り組んでいるため、どうしても真面目な話になってしまう。しかし、力をつけながらも楽しく取り組むためにはどうすべきかを考える必要がある。
2	保護者の方とお話する機会が少ない。	自主通学している子も多いため、保護者の方と情報共有する機会が少なくなっている。	こちらから定期的な連絡を取り、情報共有する機会を増やす必要がある。
3			